

ユニオンファンド 月次レポート

第125号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2019年4月4日作成

MONTHLY TOPIC

「10周年の集い」を開催します

2008年にスタートしたユニオンファンドは、多くのお客様に支えられ、お蔭様で昨年10月に10周年を迎えました。本当にありがたいことであり、改めてお礼を申し上げます。変わらぬご支援に感謝するとともに、ここまでの道のりを振り返り、成果をともに喜び、さらには今後を見据える場をぜひ持ちたいと思っていましたが、このたびようやく実現の運びとなりました。

日時・会場等の詳細は、この月次レポートの最終ページに掲載しましたので、ぜひご覧いただき、ふるってご参加くださいますようお願い申し上げます。

初回は、弊社が本社を置く松本市で開催しますが、東京をはじめお客様が多くおられる地域を中心に、順次開催場所を増やしていきたいと思っています。

これまで以上にお客様とともに

投資は、やり方次第で私たちの生活を豊かにしてくれるものですが、なかなか世の中に広がらないまま今日に至っています。敬遠される最大の理由は損をするのが嫌だからでしょうし、投資するおカネがないからという方も多くおられます。

また、投資をするには難しい勉強や売り買いのタイミングを熟知しておくことが必要であり、ハードルが高いと感じておられる方もたくさんいます。金融機関が必ずしも投資家（お客様）の期待にこたえなかったことも、投資の広がりが遅れている理由のひとつに挙げられそうです。

投資信託について言えば、少額から始められ、分散投資によるリスクの低下も可能な優れた財産づくりの手段です。その発祥を150年前のイギリスにさかのぼる歴史を持ち、世界中で確かな実績を積み上げてきました。しかし私たちの周りを見渡しますと、やはり縁の薄いものにとどまっています。

私たちはこれまで、出資者である労働組合からの多大のご支援の下、数多くのセミナーや勉強会でお話をさせていただきました。それは、投資信託の運用者自らが直接お客様にご説明し、上で触れたようなハードルをひとつひとつ下げることは、お客様が無理なく安心して投資を続けていただくためにとっても大切だと考えるからです。

今回、出資していただいている労働組合のご関係者だけでなく、広くお客様全般に向けた会を催すことにしましたのも、この考えをさらに前進させたいからです。10周年を機に、運用はもちろんのこと、お客様との接点もさらに増やし、これまで以上に財産づくりに役立つファンドに育てていきたいと思っています。

久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2019年3月末現在)

基準価額

23,006 円

純資産総額

63 億 48 百万円

期間別騰落率(%)

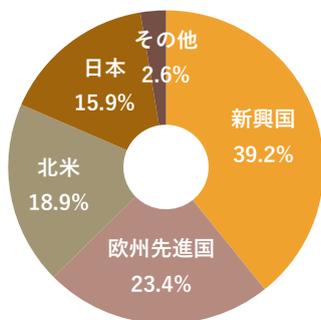
| | |
|------|---------|
| 1 ヶ月 | -1.92% |
| 1 年 | -6.05% |
| 3 年 | 16.85% |
| 5 年 | 23.87% |
| 10 年 | 146.08% |
| 設定来 | 130.06% |

複利年率(%)

8.30%

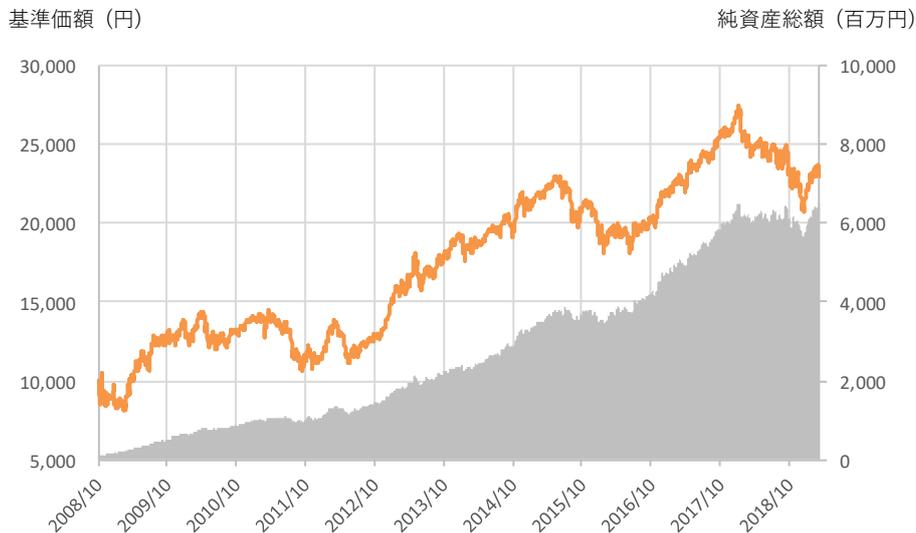
*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2019年2月末現在)

基準価額と純資産総額の推移



組入ファンドの内訳

| ファンド名 | 主な地域 | 組入比率(%) | 月間騰落率(%)※ |
|-----------------|------|---------|-----------|
| さわかみ F | 日本 | 6.3% | -1.4% |
| スパークス F | 日本 | 6.6% | -2.4% |
| キャピタル F | 欧米 | 13.8% | 0.7% |
| ハリス F | 欧米 | 18.8% | -3.4% |
| コムジェスト・ヨーロッパ F | 欧州 | 6.0% | 0.8% |
| コムジェスト・エマージング F | 新興国 | 35.6% | -3.0% |
| 現金等 | - | 12.9% | - |

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2019年3月の市場動向と運用状況

投資環境と基準価額の推移

3月の株式市場は、月末比較ではほぼ横ばいにとどまり、途中では若干の上下動に見舞われました。2月まで想定以上に大幅な株価上昇が続き、多少の休養がそろそろ必要な時期にさしかかっていたためと思います。また、米中貿易摩擦の改善を期待させるニュースが今月は非常に少なかったことも、株価が上がりにくかった一因でしょう。

世界経済は引き続き総じて軟調です。米国をはじめとして雇用情勢は非常に引き締まっており、賃金の上昇も進んでいることから、個人消費は安定した拡大が続いています。ただ、製造業は多くの国でかなり苦戦を強いられています。中国の景気低迷や貿易摩擦による輸出環境の悪化が背景です。このため、重苦しいムードが景気全般に広がっています。

景気の減速が止まらないこととインフレ率が上がらないこと、さらには貿易を巡る対立や政治的な不透明要因があることに配慮し、米欧の中央銀行は金融引き締めを停止する方針を一層鮮明にしました。ここまでの株価の回復は、金融政策のこうした大きな変化を反映したものとと言えます。また、昨年末に売り過ぎた反動で買い戻しが活発に行われたことも、株高に一役買ってきました。

こうしてみると、株価上昇が今後も続くかどうかは、企業業績が持ち直すかどうかにかまますかかってきたように思います。しかし、世界的に業績予想は下方修正が優勢であり、先行きの見通しはまだ不透明です。

株式市場の好調が続くのはもちろん結構なことですが、投資家の目がプラス要素だけに向き過ぎてきたことには少々注意が必要でしょう。実際、上旬は景気指標の悪化で、また下旬には米国で長短金利が逆転したことをきっかけに、肝を冷やした投資家の売りがかさんで株価が大きく下落する場面がありました。投資家の警戒感が一気に高まったのは、この長短金利の逆転が過去にたびたび景気後退の予兆となってきたためです。

株価は全体としては横ばいでしたが、日本株と新興国株の値下がりや、投資銘柄の不調などから、組み入れているファンドは下落が目立ちました。このためユニオンファンドも前月末比で値下がりとなりました。

運用の状況

当月も買い付けは見送りました。月末の組入比率は若干低下し、87.1%でした。

今後の見通しと運用方針

焦点のひとつは、金融引き締めの停止を好感して回復してきた株式市場に対し、景気の上向き転換という追い風が投資家の期待通り吹いてくれるかどうかだと見ています。足元では、米国と中国の景気指標の中に改善するものが始まっています。しかし、ここまでの金融引き締めの影響はまだ十分には消えていないと思われますし、景気の悪化を抑えるための十分な政策対応が期待しにくいこと、特に金融緩和余地が限られていることには注意が必要です。引き続き今後の推移には十分注意して運用にあたってまいります。

運用責任者 久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



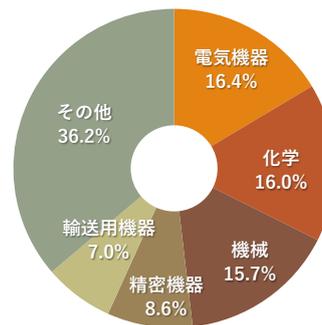
国別構成比



組入銘柄トップ10

| 組入銘柄等 | 比率 | 国籍 | 業種 | 業務内容等 |
|---------------|--------------|------------|--------------|-----------------|
| 1 日本電産 | 4.9% | 日本 | 電気機器 | 精密モーター世界首位 |
| 2 花王 | 4.4% | 日本 | 化学 | トイレット紙首位 |
| 3 プリヂストーン | 4.3% | 日本 | ゴム製品 | タイヤ世界首位 |
| 4 ダイキン工業 | 3.6% | 日本 | 機械 | エアコン世界首位 |
| 5 テルモ | 3.4% | 日本 | 精密機器 | 医療機器 (カテーテル) |
| 6 浜松ホトニクス | 3.2% | 日本 | 電気機器 | 光検出器の世界的企業 |
| 7 TOTO | 3.2% | 日本 | ガラス・土石製品 | 衛生陶器首位 |
| 8 信越化学工業 | 2.7% | 日本 | 化学 | 塩ビ・シリコンエーハー世界大手 |
| 9 国際石油開発帝石 | 2.6% | 日本 | 鉱業 | 石油メジャー |
| 10 トヨタ自動車 | 2.5% | 日本 | 輸送用機器 | 自動車世界大手 |
| 上位10銘柄 | 34.9% | 現金等 | 10.9% | |

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年3月末現在>

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

| 組入銘柄等 | 比率 | 国籍 | 業種 | 業務内容等 |
|------------|-------------|----|----------|------------------|
| シッヘルスケアHD | | 日本 | 卸売業 | 医療機器・設備 |
| クミアイ化学工業 | | 日本 | 化学 | 国内農業大手 |
| 日本電気硝子 | | 日本 | ガラス・土石製品 | ディスプレイ用ガラス等で世界大手 |
| MARUWA | | 日本 | ガラス・土石製品 | セラミック基板世界トップ |
| 三浦工業 | | 日本 | 機械 | 産業用小型ボイラー大手 |
| オルガノ | | 日本 | 機械 | 水処理装置大手 |
| ニチハ | | 日本 | ガラス・土石製品 | 窯業系外装材 |
| エフビコ | | 日本 | 化学 | 食品トレなど容器の大手 |
| トーセイ | | 日本 | 不動産業 | 不動産流動化・開発・賃貸等 |
| 京成電鉄 | | 日本 | 陸運業 | 東京・千葉方面の大手私鉄 |
| 現金等 | 5.4% | | | |

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年2月末現在>

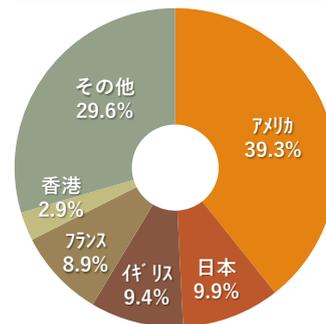
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



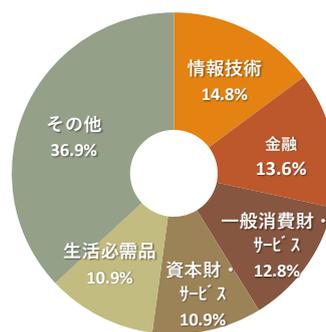
国別構成比



組入銘柄トップ10 <2019年1月末現在>

| 組入銘柄等 | 比率 | 国籍 | 業種 | 業務内容等 |
|--------------------|-------|------|---------------|------------------|
| 1 Alphabet | 1.9% | アメリカ | コミュニケーションサービス | グーグルの持ち株会社 |
| 2 Airbus | 1.8% | フランス | 資本財・サービス | 世界有数の航空機メーカー |
| 3 Enel | 1.8% | イタリア | 公益 | 国内最大の電力会社 |
| 4 Pernet Ricard | 1.7% | フランス | 生活必需品 | アルコール飲料、食品 |
| 5 AIA | 1.6% | 香港 | 金融 | 生保・金融サービス |
| 6 Ocado | 1.5% | イギリス | 一般消費財・サービス | 世界最大級のオンライン・スーパー |
| 7 Microsoft | 1.5% | アメリカ | 情報技術 | 世界最大のコンピューター・ソフト |
| 8 Seattle Genetics | 1.4% | アメリカ | ヘルスケア | 癌治療薬等の研究開発 |
| 9 Visa | 1.3% | アメリカ | 情報技術 | 世界有数のクレジットカード |
| 10 ASML | 1.3% | オランダ | 情報技術 | 半導体製造装置メーカー |
| 上位10銘柄 | 15.9% | 現金等 | 4.0% | |

業種別構成比



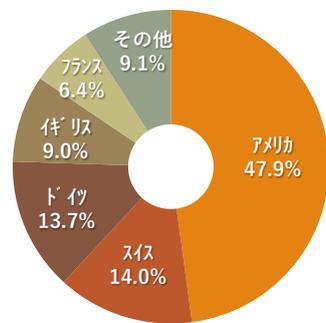
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年2月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュー株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



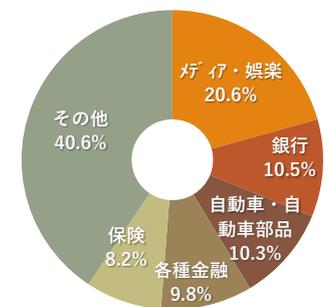
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

| 組入銘柄等 | 比率 | 国籍 | 業種 | 業務内容等 |
|--------------------------|-------|------|-----------|--------------|
| 1 BNP PARIBAS | 5.2% | フランス | 銀行 | フランス大手銀行 |
| 2 DAIMLER | 4.7% | ドイツ | 自動車・自動車部品 | 世界自動車大手 |
| 3 CNH INDUSTRIAL | 4.4% | オランダ | 資本財 | 農機・建機メーカー |
| 4 CREDIT SUISSE | 4.2% | スイス | 各種金融 | スイス大手銀行 |
| 5 ALPHABET | 3.7% | アメリカ | メディア・娯楽 | グーグルの持ち株会社 |
| 6 JULIUS BAER | 3.6% | スイス | 各種金融 | プライベートバンク |
| 7 GLENCORE | 3.5% | イギリス | 素材 | 鉱山開発・商品取引 |
| 8 BAYER | 3.4% | ドイツ | 医薬品・バイオ | 大手化学医薬品メーカー |
| 9 CHARTER COMMUNICATIONS | 3.4% | アメリカ | メディア・娯楽 | ケーブルテレビ、携帯電話 |
| 10 GENERAL MOTORS | 3.2% | アメリカ | 自動車・自動車部品 | 米ビッグ3の一角 |
| 上位10銘柄 | 39.2% | 現金等 | 2.8% | |

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年2月末現在>

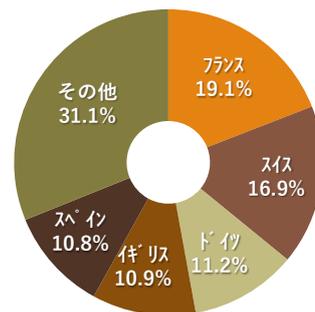
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



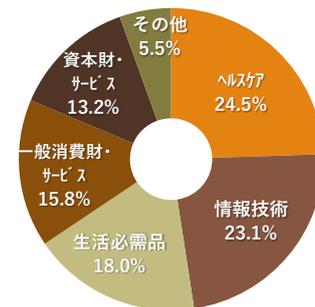
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

| 組入銘柄等 | 比率 | 国籍 | 業種 | 業務内容等 |
|----------------------|--------------|--------|------------|-------------------|
| 1 AMADEUS | 5.9% | スペイン | 情報技術 | 旅行予約システム |
| 2 COLOPLAST-B | 5.0% | デンマーク | ヘルスクア | 人工肛門世界大手 |
| 3 HEINEKEN | 4.2% | オランダ | 生活必需品 | ビール生産世界大手 |
| 4 ESSLORLUXOTTICA | 4.2% | フランス | 一般消費財・サービス | 光学製品 |
| 5 STRAUMANN HD | 4.2% | スイス | ヘルスクア | 歯科インプラントメーカー |
| 6 INDITEX | 4.1% | スペイン | 一般消費財・サービス | アパレルメーカー |
| 7 SAP | 3.5% | ドイツ | 情報技術 | ビジネス向けソフトウェア大手 |
| 8 SIKA | 3.5% | スイス | 素材 | コンクリートなど建設・工業用化成品 |
| 9 ASSA ABLOY B | 3.4% | スウェーデン | 資本財・サービス | 鍵等のセキュリティシステム世界大手 |
| 10 DASSAULT SYSTEMES | 3.3% | フランス | 情報技術 | 欧州大手3Dソフト会社 |
| 上位10銘柄 | 41.4% | | 現金等 | 8.1% |

業種別構成比(マザーファンド)



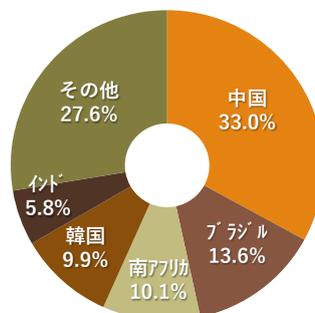
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年3月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

| 組入銘柄等 | 比率 | 国籍 | 業種 | 業務内容等 |
|------------------------|--------------|------|---------------|-----------------|
| 1 PING AN INSURANCE | 6.4% | 中国 | 金融 | 保険大手 |
| 2 TSMC ADR | 4.8% | 台湾 | 情報技術 | 半導体メーカー |
| 3 COGNIZANT TECHNOLOGY | 3.8% | アメリカ | 情報技術 | インドに受託拠点を置くIT会社 |
| 4 HENGAN INT'L | 3.5% | 中国 | 生活必需品 | トイレット製品国内大手 |
| 5 INNER MONGOLIA YILI | 3.5% | 中国 | 生活必需品 | 乳製品国内大手 |
| 6 BAIDU ADR | 3.4% | 中国 | コミュニケーションサービス | 検索エンジン世界大手 |
| 7 HANGZHOU HIKVISION | 3.3% | 中国 | 情報技術 | ビデオ監視機器世界大手 |
| 8 AIA | 3.3% | 香港 | 金融 | 生保・金融サービス |
| 9 SAMSUNG ELECTRONICS | 3.3% | 韓国 | 情報技術 | 家電・電子部品大手 |
| 10 FOMENTO ECONOMICO | 3.3% | メキシコ | 生活必需品 | 飲料、コンビニチェーン |
| 上位10銘柄 | 38.6% | | 現金等 | 2.8% |

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2019年3月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

ゴールデンウィーク 10 連休前のお取引について

10 連休前にファンド売買お取引が成立・完了する最終スケジュールは、以下のとおりとなります。

◎ スポット購入（連休前の基準価額にて注文を成立する場合）

| お申込日（15 時まで） | 約定日（注文成立日） | 取引報告書発送日 |
|--------------|-------------|------------|
| 4 月 24 日（水） | 4 月 26 日（金） | 5 月 7 日（火） |

◎ 換金（解約）（連休前に解約代金の受取りを希望される場合）

| お申込日（15 時まで） | 約定日（注文成立日） | 取引報告書発送日 | 代金お振込日 |
|--------------|-------------|-------------|-------------|
| 4 月 19 日（金） | 4 月 23 日（火） | 4 月 24 日（水） | 4 月 26 日（金） |

取引残高報告書について

今回、「平成 31 年 1 月～3 月」の期間中にお取引があったお客様を対象に、郵送にてご報告しています。

※残高があるお客様で、前回の「取引残高報告書」作成日以降お取引がない場合には、1 年毎のご報告となります。

「お預り証券等の残高明細」の見方

お預り証券等の残高明細（イメージ）

| 銘柄名 | 数量 | 評価金額合計 [a] | 運用損益[a-b+c] | 円 |
|-------------|------|------------|------------------------|---|
| | 基準価額 | 投資金額 [b] | ※a,b,c 及び運用損益は全預り通算で算出 | |
| （ 預 り 区 分 ） | 評価金額 | 受取金額 [c] | | |
| （ 決 算 日 ） | 取得単価 | 個別元本 | | |

| | |
|-------------|--|
| 数量 | ユニオンファンドの残高口数です。 |
| 基準価額 | 作成日（平成 31 年 3 月 29 日）現在の基準価額です。 |
| 評価金額 | 作成日現在の残高の「評価金額」です。 （「評価金額」＝「数量」×「基準価額」÷10,000 で算出されます。） |
| 取得単価・個別元本 | これまでユニオンファンドを取得された価額の加重平均です。 一般口座でのお取引の場合は、「個別元本」のみが表示されます。 |
| 評価金額合計 [a] | 評価金額の合計です。 |
| 投資金額 [b] | ご購入された金額の累計です。 ※ 相続等により入出庫があった場合は、入出庫分の購入金額または取得価額に相当する金額が増減されます。 |
| 受取金額 [c] | ご解約された金額及び受取分配金額の累計です。 ※ ユニオンファンドは設定来、分配金を出していません。 |
| 運用損益[a-b+c] | 作成日現在の運用損益です。 「運用損益」＝「評価金額合計」－「投資金額」＋「受取金額」 |

ご不明な点がございましたら、弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までお問い合わせください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.864% (税抜き 年 0.8%) の率を乗じて得た額です。
毎日、当ファンドの信託財産より控除されます。
[*実質的な信託報酬：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3% (概算)]
*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券でかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が変更・改正された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が当ファンドの信託財産より控除されます。
① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料(消費税等相当額の費用を含みます。)
② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用(監査費用)(消費税等相当額を含みます。)
※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

セミナーのお知らせ

ユニオンファンド“10周年の集い”in 松本のご案内

| | |
|------|---|
| 日時 | 2019年5月11日(土) 14:00~17:00 (受付開始 13:30~) 終了後、簡単な懇親会 (~19:00) を予定しています。希望者は是非ご参加ください。 |
| 会場 | 松本市勤労者福祉センター 2-2 会議室 長野県松本市中央4丁目7番26号 |
| 対象 | ユニオンファンドを保有されているお客様とご家族の方 70名(お申込み順) |
| 参加費用 | 無料 |
| 申込方法 | 弊社業務管理部 (TEL:0263-38-0725) までお電話いただくか、弊社ホームページの「資料請求・問い合わせ」ページよりお申し込みください。(申込締切日:5月9日) https://unionam.co.jp/contact/index.html ≪弊社HP「資料請求・問い合わせ」ページからのお申し込み方法≫ ①ご依頼内容「お問い合わせ」にチェックしてください。 ②お名前、ご住所、連絡先(電話番号・メールアドレス)をご入力ください。 ③お問い合わせ内容欄に「 5/11 参加申込み ○名(参加人数)」をご入力ください。 |
| 交通 | <ul style="list-style-type: none"> ・JR松本駅お城口のバスターミナルからアルピコ交通『横田信大循環線』に乗り、「松本市美術館」で下車、北に徒歩4分 ・JR松本駅から松本周遊バス「タウンズニーカー」の東コースに乗り、「日の出町」で下車、西に徒歩1分 ・JR松本駅お城口からタクシーで約5分(約1.2キロメートル) ・長野自動車道松本ICから約15分(約3キロメートル) ※お車でお越しの場合は、近隣の有料駐車場をご利用ください。  地図 |

この“集い”は、投資信託その他金融商品の勧誘を目的とするものではありませんが、これらについての具体的な説明を行い、その取引を誘引することがあります。／金融商品等への投資は、その価格の変動等により損失を生じることがあります。／金融商品等ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、目論見書等をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。